

所在地は郵便番号から記載。(以下同様) 様式第1交付申請書の代表者の職・氏名と一致。 代表事業者(設備保有者・目標保有者) ※1	法人	法人名	××リース株式会社		
		法人所在地	〒110-..... 東京都千代田区...		
		主な業務内容	リース・クレジット業		
	事業実施責任者	部署	東京支店		
		役職	支店長		
	経理責任者	氏名	×× 一郎		
		部署	経理部		
	代表事業者の事務連絡先 ※2	役職	部長		
		氏名	×× 二郎		
		区分	<input checked="" type="checkbox"/> 代表事業者 <input type="checkbox"/> 事務代行者		
法人名		××リース株式会社			
部署		経理部			
役職		経理係長			
氏名		×× 三郎			
共同事業者(目標保有者) ※3	共同事業者の事務連絡先 ※4	勤務先住所	〒110-..... 東京都千代田区...		
		電話番号	03-1234-xxxx		
		E-mail	saburo@xxx.co.jp		
		区分	<input checked="" type="checkbox"/> 共同事業者 <input type="checkbox"/> 事務代行者		
		法人名	株式会社〇〇不動産		
削減協力者 ※5	法人名	部署	ビル管理部		
		役職	ビル管理部第一グループ長		
		氏名	〇〇 五郎		
		勤務先住所	〒160-..... 東京都新宿区...		
		電話番号	03-4321-〇〇〇〇		
補助事業の概要	事業の実施場所 ※6	事業場・工場	株式会社△△△東京第一支店ビル		
		事業場・工場住所	〒120-..... 東京都足立区...		
	事業実施場所の主な業務内容	金融サービス業			
	参加形態	<input checked="" type="checkbox"/> 単独参加 <input type="checkbox"/> グループ参加			
事業形態 ※7	<input checked="" type="checkbox"/> 事業場 <input type="checkbox"/> 工場				

本様式は、原則としてカラーで出力し、プリントアウト時に印刷が切れていないことを確認すること。

交付申請書記載例
 ・記載例(赤字)・・・作成時は補助事業に合わせて記載し、黒字とすること。
 ・注意書き(青字)・・・提出時は消去すること。
 ◆以下、基本的に、応募時の書類(別添1)と記載を一致させる。個別の注意点は青字箇所参照。

注 記載にあたっては、「ASSET 実施ルール」を参照すること。また、記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用すること。

- ※1 代表事業者は、補助対象の設備を保有し、補助金の交付を受ける法人とする。
- ※2 代表事業者の事務連絡先は、代表事業者、あるいは代表事業者からの委任を受けた第3者である事務代行者の窓口となる担当者情報について記載する。
- ※3 テナント、工場内で事業を行う者が代表事業者として参加する場合には、当該建物や工場の所有者が共同事業者(目標保有者)として参加しているかどうか確認すること。
- ※4 共同事業者の事務連絡先は、共同事業者のいずれかの法人、あるいは代表事業者及び共同事業者からの委任を受けた第3者である事務代行者の窓口となる担当者情報について記載する。
- ※5 削減協力者は、代表事業者及び共同事業者以外に、削減事業に協力する法人(テナント、工場内で事業を行う者等)とする。(任意)テナント、工場内で事業を行う者等が目標保有者として参加する場合、本様式においては共同事業者として記載すること。
- ※6 グループ参加の場合、事業の実施場所は「〇〇ビルおよび〇〇ビル」のように参加事業場名又は工場名をすべて列記する。住所は代表的な事業所を記載する。
- ※7 事業場と工場両方が含まれる場合には、より排出量の多い方を選択する。

事業名	高効率パッケージエアコン導入によるCO2削減事業			
事業期間	交付決定の日～平成29年2月28日			
基準年度CO2排出量 ※1, 2	1,000	1,050	950	1,000
	tCO2(平成25年度)	tCO2(平成26年度)	tCO2(平成27年度)	tCO2(基準年度排出量)
削減効果	平成29年度の年間CO2排出削減目標量			
削減目標量 ※3	125	5	130	
	設備導入によるCO2 排出削減目標量 <t-CO2>-①	設備導入以外の排出削減 取組によるCO2排出削減目 標量 <t-CO2>-②	<t-CO2>	
補助金申請額	10,400	千円③		補助対象事業費 31,200千円
補助の費用効率性	$\frac{10,400}{(125 + 5)} \times 12.0 = 6.667$			
	補助金申請額 <千円>-③	設備導入によるCO2 排出削減目標量 <t-CO2>-①	設備導入以外の排出削減 取組によるCO2排出削減目 標量 <t-CO2>-②	導入する設備の法 定耐用年数 <年間> <年-CO2>
環境省指定先進 の高効率機器 導入比率	18,000	21,600	100	83.3
	環境省指定先進的高 効率機器一覧に掲げ る設備機器の材料費 合計 <千円>	環境省指定先進的高 効率機器等の材 料費合計<千円>	千円単位で記入	<%>

注 記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用すること。

※1 基準年度排出量の算定については、「ASSET 実施ルール」を参照すること。

※2 基準年度は平成25年度～平成27年度の3年間平均を原則とするが、固有の事情により例外を認めることもあり得る。

※3 排出削減目標量の算定については、「ASSET 実施ルール」を参照すること。

なお、対象となる事業場・工場等における補助対象設備以外による排出削減の見込量を含めることも可とするが、この計画書に記載の排出削減目標量の数値自体は、本計画書の提出以降変更することができない。

※4 数値は小数点以下切り捨てて記入すること。ただし、設備の法定耐用年数を除く。

導入する設備一覧

区分	設備名 ※2、※3	商品名
補助対象設備	高効率パッケージエアコン①	先進的高効率機器の設備名称は、①、②等の添字で型式毎に区分して記載すること
	高効率パッケージエアコン②	
	高効率照明	各設備の名称は、次頁の「導入前後の比較図」、別紙2経費内訳等の関連図書全てにおいて同じ名称を使用すること。
補助対象外の設備	パッケージエアコン	

注 記入欄が少ない場合は、適宜欄を増やして使用すること。

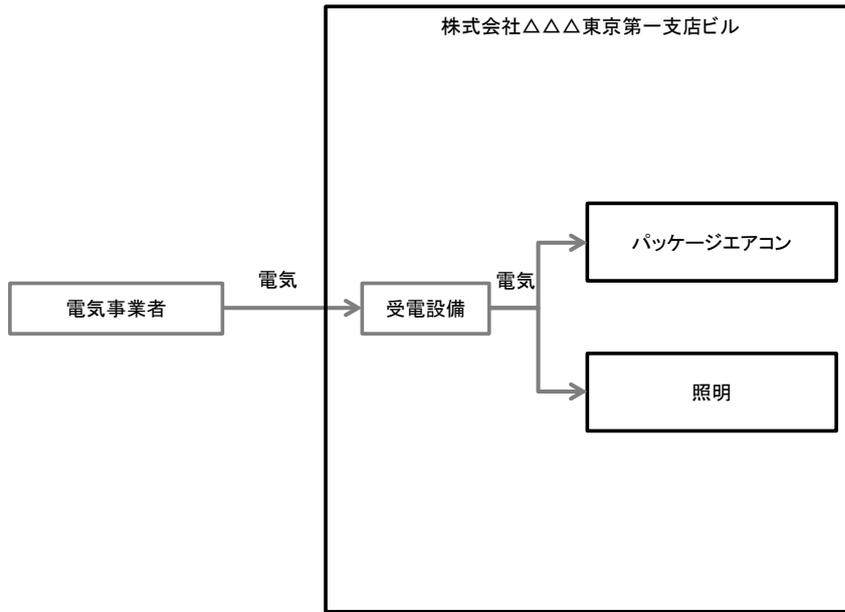
※1 「環境省指定先進的高効率機器設備一覧」に定める設備のみ、商品名まで記載すること。

※2 ここで記載する設備名は、全ての別添・別紙において同一のものとする。

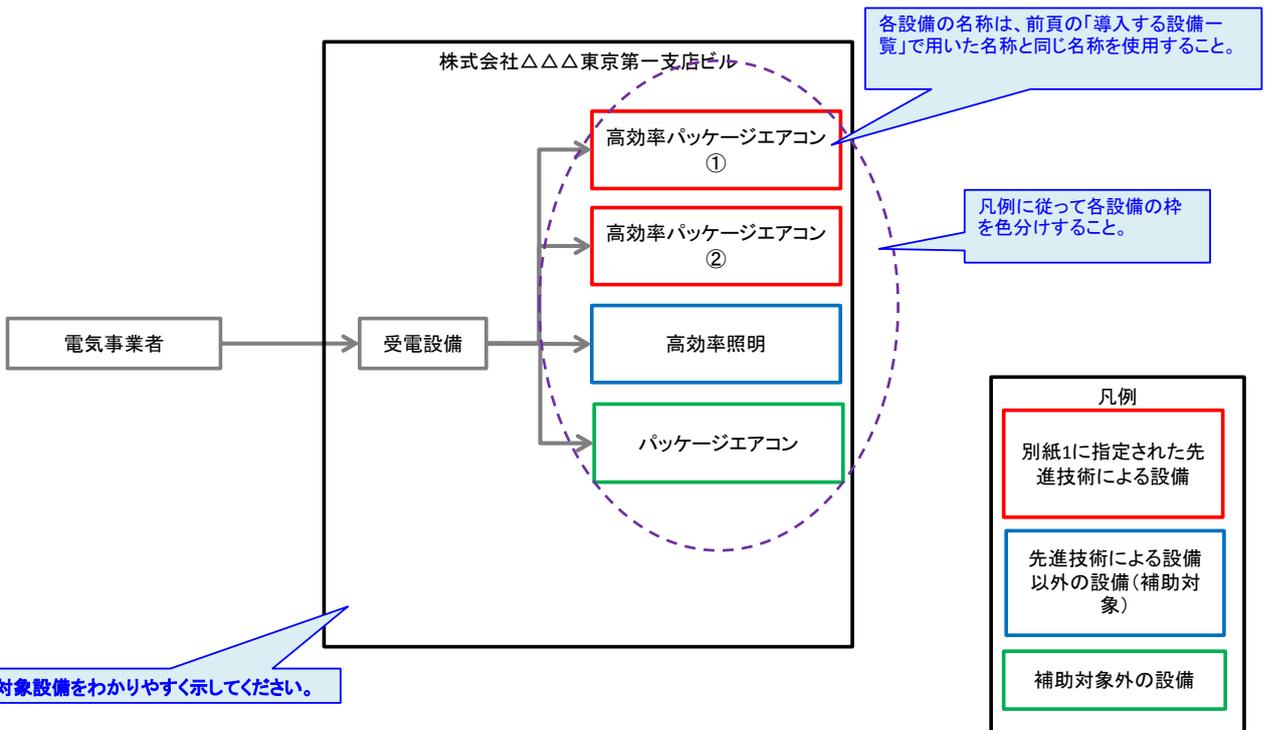
※3 一つの商品名に一つの設備名を対応させてください。

導入前後の比較図

導入前



導入後





敷地内における主な化石燃料燃焼設備(ボイラー等)、他社から供給を受けた電力・熱を使用する主な設備(※主な設備を箇条書きで記載)

- 1. 受電室(1)
- 2. 灯油ボイラー、ガスボイラー

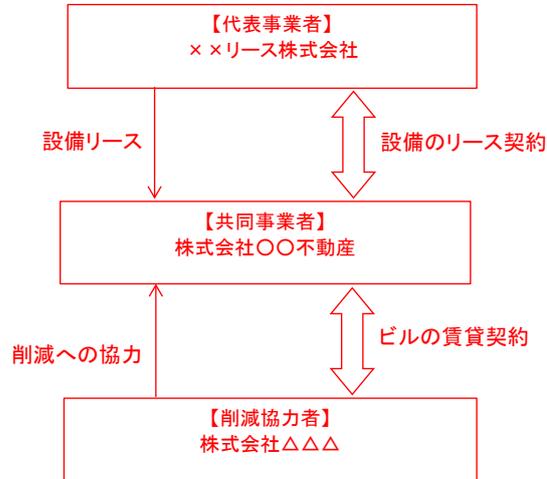
テナント、工場内で事業を行う者が代表事業者(目標保有者)として参加する場合には、当該建物や工場の所有者が共同事業者(目標保有者)として参加しているかどうか確認すること

「ASSET実施ルール」に沿った敷地境界となっていることを確認した場合には、右の□に✓する。 ASSET実施ルールに沿った敷地境界である

注:敷地境界については「ASSET実施ルール」を参照のこと。

(複数事業者による共同申請の場合)各事業者の役割分担について

代表事業者及び共同事業者につき、各々の担当業務及び関係について図等を用いて記述のこと。



その他特記事項